



子どものために 「快」を感じる宿泊行事

ある小学校にて。4年生くらいの子どもが担任の先生と校長室前を歩いていました。校長室のドアが開いていたので中をのぞくと、昔の校長先生たちの写真がずらりと並んでいました。歴代の校長先生がたくさんおられたことを言いたかったのでしょう。子どもが言いました。「初代校長、めっちゃおるやん。」それを聞いた担任の先生が一言。「初代は一人や。」先生の的確なツッコミに笑ってしまいました。

あまようの校長室には20枚の歴代校長の写真が飾られています。初代は長谷川 卯 校長先生です。在職期間は昭和33年からの5年間。尼崎養護学校は昭和33年4月に、全国で5番目の肢体不自由の養護学校として水堂小学校の仮校舎からスタートしました。同年10月3日に立花福社会館で開校式を行い、この日を本校の創立記念日としました。翌年にはスクールバス(チューリップ1号車)の披露式、翌々年には田近野に新校舎落成と、様々な歴史を刻んでいきます。1つ1つの出来事にその時々に関係者の思いがあります。記念誌に初代育友会(現PTA)会長の伊美タカノさんの言葉が残っています。「子どもには将来がある。将来のために日常生活の自立を考えてやらなければならない」。あまようは、今年で創立66周年。将来の自立に向けて、子どものために…、は今も受け継がれている理念です。

よく「相手の立場に立って」という言葉を耳にします。教育現場では「子どもの立場に立って」物事を考えることが大切です。極端な事例ですが、子どもが体感している世界を大人のサイズに置き換えるとどうなるか、という取り組みが新聞に載っていました。周囲の大人たちは身長4m級の巨大生物に見え、ランドセルは重さ20kgに相当するそうです。人の声を赤ちゃんの泣き声に変換する装置を着けると、何を話しても泣き声になってしまうので、泣くことしか訴える方法がないもどかしさを痛感し、電車で泣いている赤ちゃんが気にならなくなった、との感想も聞かれたそうです。

では、心身に重い障害のある人は世界をどう感じているのでしょうか。長年、重症心身障害児施設に勤務された医師の高谷清さんは著書の中でこんなことを書いておられます。頻繁に発作をおこす人がいたが、周囲で急に音を出さないように気をつけたところ発作はおこらなくなった。つまり、発作ではなく急な音に身体を緊張させて叫んでいたのである。周囲の状況を理解できず、逃げようとしても自分では移動できない重い障害のある人は、音や皮膚への接触などの感覚が外界との結びつきの大きな部分を占める。しかも、避ける・逃げるができない状態で刺激を受けることになるために、驚き・不安・恐怖というだけでなく、生命体の存在そのものが脅かされるという本源的な恐怖を感じるのではないかと。

高谷清さんは、こんなことも書いています。無脳症の子が入浴や日光浴をしている時に笑っているような表情を見ることがある。脳の形成がなくても本人が気持ちよく感じる状態は可能だ。外面的、内面的に「快」の状態にあるという感覚的状态は障害の有無にかかわらず、誰にとっても基本的な「生きる喜び」である、と。

10月は高等部の1・2年生が宿泊学習に、3年生が修学旅行に行きます。大げさかもしれませんが、「生きる喜び」を感じられる経験になればいいなあと思います。「初代校長、めっちゃおるやん」「初代は一人や」という即興漫才のような笑える出来事や、「快」を感じる体験が、これからもたくさんありますように。



お父さんの小遣いも
今月は飴ちゃんて支給
しようかしら…

快

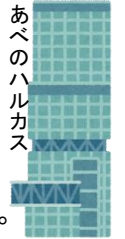
飴ちゃんて 喜ぶ歳には 戻れません

(校長 河合 康一)

☆宿泊行事について



あべのハルカス



高等部1・2年生が行く「堺市立ビッグバン」とは？

- 作る、学ぶ、体を動かす楽しさがいっぱい詰まった施設。興味や年齢によって色々な遊びが楽しめる。
- スロープ、段差のない構造、立体触地図、点字等によるサインなど、全ての人に優しい福祉施設を備えている。
- 宿泊は国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)です。初日の夜と2日目にもレクリエーションを計画しています。

高等部3年生が行く「あべのハルカス」とは？

- 「晴れ晴れとさせる」を意味する古語「晴るかす」が由来。地上300mからの眺めで、晴れ晴れとした気分に。
- 1日目はボタニカルガーデンで夜の散策、2日目にはアクアライナーに乗船と、楽しい活動が盛りだくさん。
- 宿泊するユースホステルのあるヤンマースタジアム長居では宿泊当日、ライブのリハーサルをしているらしい。(そのライブとは、EXILEが所属するLDHという事務所のメンバーが大集結するイベント！音漏れを期待？)

☆校外行事について



トライやるウィーク(中学部2年生)

9月30日(月)から10月8日(火)にかけて、トライやるウィークを実施します。たじかの園や中央北生涯学習プラザ、マックスバリュー東難波店などに出かけ、社会体験をしてきます。

社会見学(小学部低学年)

10月2日(水)(予備日9日(水))に学校の周りを校区探検します。学校周辺を散策した後、マックスバリュー東難波店に行って、買い物活動もします。

わくわくオーケストラ(中学部1年生)

10月25日(金)に兵庫県立芸術文化センターに行ってきます。県内の中学1年生が参加する県の事業です。本格的なホールで、兵庫管弦楽団の演奏を聴いたり、みんなで歌を歌ったりします。

※行事の様子や日々の学校での様子は、あまようのホームページに写真を掲載しています。

☆お知らせ

* 上映会&トークの会について

10月12日(土)に本校体育館で、「夢みる公立校長先生」上映会とこの映画で紹介される西郷孝彦桜ヶ丘中学校元校長先生のトーク会があります。午前の部は10時から、午後の部は13時半から。

* 同窓会について

10月13日(日)10時から本校体育館で、尼崎養護学校・あまよう特別支援学校同窓会があります。9年ぶりの同窓会です。参加される方は懐かしい顔に出会えるかもしれませんね。お楽しみに…。

* ミーツ・ザ・福祉について

10月26日(土)に橘公園野球場で、ミーツ・ザ・福祉があります。今年で8年目です。あまようPTAもゲーム(ハンドアーチェリー・ピンボール)の店を出します。ご都合の合う方はぜひご参加ください。

※上記いずれのイベントも本校主催ではありませんので、詳しくは各HP等でご確認ください。